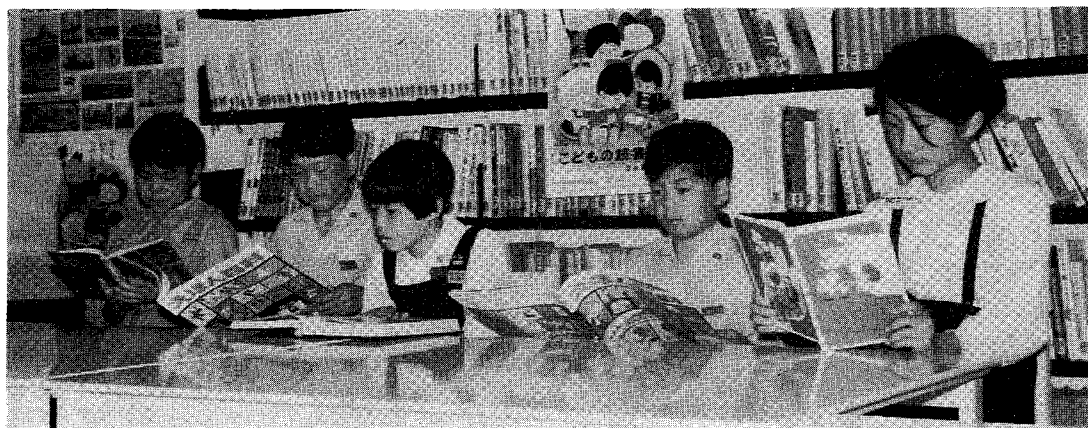


図書館だより

題 字 田部島根県知事

号 数 第 3 号
発行日 昭和 44 年 5 月 1 日
編 集 楫 野 健 治
発 行 島 根 県 立 図 書 館
松 江 市 内 中 原 町 52
TEL (0852) 21-2101
印 刷 渡 部 印 刷 株 式 会 社



(小中学生室利用風景)

だいすきな本

わたしは、どうぶつがすきなので、たくさんのディズニーの、どうぶつものがたりを読みました。101匹わんちゃん、わんわんものがたり、くまのプーさん、バンビ、ぞうのマンボ、ミッキーマウス、いろいろ読みました。

一ばんおもしろかったのは、くまのプーさんです。うさぎのあなの中で、ハチミツをたくさん食べてあなから出られなくなったプーさん。そのくまさんのおしりにもようを書いて、とてもすきなおへやのかざりを作りました。それからえさを食べて、あとはあそんでいるのだとばかり思っていたのですが、おとうさんやおかあさんにいろいろなことをおしえてもらって、りっぱなおとなになるじゅんぴをしているのだということをはじめてしました。とてもおもしろかったので、今でもよくおぼえています。

わたしは、本を読むのはあまりじょうずではありません。ゆっくりしか読めません。でも、本を読むのは大すきです。夜ねるとき、おかあさんに読んでもらうこともあります。そしていろいろなことを、そうぞうしたり、話の中に出てくるどうぶつとお話もしてみます。わたしの知らないことも、次々とおしえてくれる本、わたしは、本を読むのが大すきです。

松江市立朝日小学校 3年生 谷口典子

こどもの読書週間特集

家庭における読書ノ

こどもの読書指導について

島根県学校図書館協議会長

音 羽 融

1. 家庭において、なぜ読書が必要か

子どもたちが、りっぱに育っていくためには、読書が必要なことは言うまでもないが、その読書の習慣は、大体、小学校5年ごろまでにできると言われています。しかるに、刺激の強烈なマスコミの氾らん、テスト中心か点数中心の考え方が読書に対する消極的ムードを作っている。ここに家庭における読書指導の重要性があります。

2. 家庭における読書指導のあり方

- (1) 家庭環境を整えてやる……読書をするにふさわしい子ども部屋、一見してわかる書架を作ってやりたい。
- (2) 読書時間を作ってやる……1日の家庭生活に読書の時間を設定してやるとか、1週間の中に読書日を作ってやり、読書の機会を作ってやりたい。
- (3) 適書の指導……子どもにとって読むにふさわしい本を選定してやったり、良い本をみずから選択するように指導する。
- (4) 読書ノート……読後感想を読書ノートに書かせるように指導したい。
- (5) 親と子の20分間読書……これは主として低学年の子どもの読書指導であるが、20分の短い時間、親が読んで子どもに聞かせたり、子どもが読んで親が聞き役になったりして、その後で話し合いをして読書を深めていく方法である。わずか20分間やるというのでは、たびたびやるためです。

3. むすび

子どもに読書させるためには、いろいろの方法があると思うが、要は親自身が読書を愛好する親になることが、一番大切ではなかろうか。

——我わが家の読書——

書斎等というしゃれたものを持たない我が家では、本はタンスにもたれあるいは寝床の中で読むものと何時の間にか決まってしまった。生まれつき無精で横着な性格に団地暮らしの狭さが拍車をかけたらしい。団地暮らしのころは休日の一日を本を抱えてそれぞれのぬぐらにこもり疲れてはお茶を飲み、支度や後片づけがめんどろだと食事に出かける気らくな我が家であった。そのころ小学生だった娘は就寝時間が決まっていたが土曜日だけは別で何時までも本を読むことが許されていた。それが嬉しくて土曜日の夜は張切ったものだった。転居、両親との同居、主人の転勤別居、父の死とこの4年間に我が家の暮らしも随分変わった。私自身のことをいえば4人の子どもの保育ママをしながらPTA婦人学級グループ活動と駆け回り、その上洋裁もやるという息つく暇のない時が一番よく本を読んだようだ。社会活動の中でぶつかるさまざまな問題点の解決を求めた故であろうが……。ハンドバックにも買い物籠にも本が入っていて何時でも何処でも読んでいた。しかし環境に支配される私の読書はにせものらしく、このごろでは団地住いのところのような気らくな主婦にもなり切れず、時間がないとこぼす中学3年の娘にもついてゆけない哀れさである。「少しまともなものを読んだら」等と冷やかされていた主人だけがゆゆうと今も昔も変わりなくマイペースで好きな本に読みふけている。

松江市母衣町 島村美紗子

県立図書館小中学生室の

利用状況について

小中学生室に入ってくる子どもたちのおどろようなその足どり、笑い声……。子どもが子どものときにしか楽しもうもないすぐれた児童文学や読み物を無料で提供することが子どもにとってどんなによろこばしいことか。授業がすんで学校をでた子どもたちは、先生から、そして成績表からも解放されて、自由にのびのびと図書館にやってきます。子どもたちばかりでなくお母さんが買物の帰りに、また子どもと一緒にちょっとよれる――



そして図書館に親しんでもらうための足がかりとして、教育関係や日常生活に役立つと思われる本などを集めて「お母さまの本」のコーナーを作ってみました。現在小中学生室には4,700冊の本があり、貸出しの手続きをしている子どもは1,200人ですが、これは去年(旧館)の3倍近くになり1日の利用者も同じようにふえています。男女ともに人気のあるのは文学ですが男の子は自然科学、工学関係もよく読まれているようです。また小さい子には民話とか、むかしばなしが根強い人気をもっているのも驚きでした。おはなしの楽しさを寝物語りに味わせてくれる、おばあさんやお母さんが少なくなっているせいでしょうか。最近ではさすがに新館当時のものめずらしさも手伝った見物人がなくなり落ち着いた雰囲気読書ができるようになったと思います。

奉仕課 勝部百合子

こども文庫をつくらう

—こども文庫の紹介—

最近、こども文庫の施設が、あちこちでつくられていますが、先般図書館で調査しましたものの中から子ども文庫を紹介しましょう。

県下にこのような施設が次から次と誕生したいものです。

◎今市少年の集い文庫（那賀郡旭町今市）

昭和40年開設

責任者 服部晃信 ほか世話人4名

設置場所 寺院本堂

年間図書費5,000円（この経費はすべて個人の寄付によるもの）

備付図書冊数約200冊（その他借用図書30冊、これは県立図書館自動車文庫巡回の際借用している）

開く日 必要に応じて開いている。

会員 80名

1日の利用者数 約50名

貸出冊数 20冊

その他 行事としては、こども会（おはなしの会、映画幻灯会）や卓球大会も行ない青少年の健全な育成につとめている。

◎岡児童図書館（大原郡加茂町三代）

昭和42年開設

責任者 多田納忍一 ほか世話人5名

経営者 岡部落親子会（ひまわり会）

年間図書費5,000円（親子会の会費から出している。1か月100円）

備付図書冊数85冊（その他借用図書60冊、これは県立図書館自動車巡回の際借用している）

開く日 土・日曜日 8～17時

その他 こども会やハイキング、海水浴等行ない青少年健全育成を目的としている。

◎東谷「わかば会館」こども文庫（大原郡加茂町東谷）

昭和42年開設

責任者 渡部積太郎 ほか世話人7名

経営者 報徳会

備付図書冊数約130冊（その他借用図書10冊は県立図書館自動車文庫から借用している）

開く日 全日開放 9時～17時

会員 48名

1日の利用者 約15名 貸出冊数約5冊

その他 行事としては、おはなしの会やハイキング、こども会、親子遠足等。

この文庫を始めた動機は、町から災害仮設住宅2戸分を貰い受け会館を作ったことによる。しかし児童の遊び場でもあり、ゆっくり読書することが出来る。

◎なかよし文庫（飯石郡三刀屋町三刀屋駐在所内）

昭和41年開設

責任者 佐和清行 ほか世話人12名

経営者 佐和清行 三刀屋町なかよし文庫運営協議会

経費はすべて寄付でまかなっている。

備付図書冊数306冊（小学全集、図鑑全集等）

開く日 全日 8時～17時
会費は取っていない。

一日の利用者数 約30名

その他 行事としては、おはなしの会や各種施設等の見学を行なっている。

この文庫を始めた動機は一般に敬遠されやすい警察に気易く出入りしてもらおう、また子どもの遊び場として利用出来るよう、遊びながら知識を高めると同時に地域の人々とのつながりを深める。

運営上の問題としては図書購入費が少なく寄付金にも限度がある。



新しい図書館設備豆辞典（その3）

◎ケセノン映写機

試写室での映写および集会室における、文化映画の上映などに使っている映写機で、光源にケセノンランプを使っています。この映写機は次のような特徴があります。

- (1) 光源のケセノンランプは、石英管の中にタンゲステンの十、一の極があり、ケセノンガスが封入された一種の放電管です。
- (2) 人工光の中で最も太陽光に近く、その色温度の差は5%と少なく、普通電球映写機よりも同じワット数のものと比較して、約4倍のルックスがあり、眼で見た場合は約8倍の明るさに感じます。
- (3) 色温度の差が、カラーフィルムを上映する場合普通電球を使った映写機に比べて、色の再現は格段の差となって現われ、美しい画面を見せます。

子どもに 読ませたい本！



『ちびくろさんぼ』（低学年）

ヘレン・バーナマン著 岩波書店

黒ん坊の男の子の明るい生活ぶりをユーモラスに描いています。さんぼをいじめたトラがとけてバターになるという、奇抜な着想のおもしろさ、巧みなくり返しが単純で鮮明なさし絵とともに子どもをひきつけます。

『かにむかし』（低学年） 木下順二著 岩波書店

さるかに合戦として知られている話ですが、ウシのふんや、はぜ棒なども登場して子ガニのあだ討ちを助ける独特の語り口が非常におもしろく書かれています。

『いやいやえん』（低学年）

中川季枝子著 福音館書店

なんでもいやだという子どもばかりがいる保育園「いやいやえん」のお話です。奇想天外なお話は楽しく、規律のある集団生活の楽しさをしらせてくれます。

『ももいろのきりん』（低学年）

中川季枝子著 福音館書店

女の子が作ったももいろの紙のキリンが動きだし、空想的な冒険が始まるという単純な筋で簡潔な文章です。みずみずしい感覚の絵がふんだんにはいつて絵本から童話に進む時期のお子さんにおすすめします。

『小さい目1ねん〜6年』（低学年〜高学年）

朝日新聞社編 あかね書房

朝日新聞の児童詩の欄に掲載された中から、特に心に訴える作品を集めたものです。小さな目から見たそばくで鋭い観察から生まれたことばのスケッチです。

『エルマーのぼうけん』（小学中・高学年）

ガネット著 福音館書店

動物島でとりこになったリュウの子をエルマー少年が助けます。エルマーの機知と冒険や動物たちのユーモラスな会話は、空想の世界を大きくひろげます。

『ファエブル』（小学中・高学年）

砂村秀治著 ポプラ社

『昆虫記』の著者として、世界的に有名なファエブルの人となりを知るとともに、人生への反省と自分たちの生き方について、強い指針を与えてくれます。

『ドリトル先生アフリカゆき』（小学高〜中学生）

ロフティグ著 岩波書店

動物語のわかる人のいいお医者さんドリトル先生とアヒル、ブタ、犬などの動物がくりひろげる愉快的な空想物語です。全12冊のシリーズの最初で、ドリトル先生はサル疫病を救うためアフリカにわたります。

『灰色の谷の秘密』（小学中・高学年）

マスパン著 あかね書房

夏休みにパリからピレネー山脈の小さな村へきた兄弟が、村の子どもと洞つづを探検しているうち、先史時代の壁画を発見するという、物語としてもおもしろく、考古学の世界への扉を開く書としても適しています。

『人間の歴史』（中学生） イリーン著 岩波書店

人間が、今のような人間になるには長い年月が必要でありました。苦しい戦いの中から地球の支配者となり巨人となっていく偉大さをおもしろく読ませてくれます。

『星の王子さま』（中学生）

サン・テグジュペリ著 岩波書店

サハラ砂漠の真中に不時着した飛行士が、小さな星からきたふしぎな王子さまに会するという、類のない美しさをもった幻想的な物語で、人生の真実を深くついた言葉が随所に光っています。

『チボー家のジャック』（中学生）

ジュガール著 白水社

「チボー家の人々」の中からジャックを中心とした部分を編集したもので、習慣と規律に縛られた生活に反抗し、自由を求めてやまぬジャックの生き方に深い感銘をおえます。

『アンネの日記』（中学生）

アンネ・フランク著 文芸春秋新社

第二次大戦の時、ユダヤ人アンネが古い建物にドイツ人から隠れて、約2年間に書いた日記です。少女の喜び悲しみなど、彼女の魂の告白に胸をうたれます。

『風の又三郎』（小学高学年〜中学生）

宮沢賢治著 岩波書店

少年たちの夢や希望を描いた『風の又三郎』や民話など、東北の郷土色豊かな賢治の作品18編が載せられています。詩的な味わいがでています。

『風に乗ってきたメアリー・ポピンズ』

（小学高学年〜中学生）トラヴァース著 岩波書店

風に乗ってきたメアリー・ポピンズはバンクス家の子どもたちに、行き届いた世話をします。子どもたちは、ふしぎなことをまき起こす彼女のとりこになりますが、空想と現実をたくみにまじえた愉快的な物語です。

へき地こども文庫好評／

へき地指定校に、図書（１セット約30冊）を巡回貸出し、児童生徒に読書の機会を与え、学習活動の一助にすることを目的として実施しているもので、44年度も継続する予定です。43年度は希望した53校に延23セット690冊を貸出したところ、次のような文庫に対する要望が殺到しています。

ア. すばらしい本なのでみんなで毎日喜んで読んだ。もっとへき地のこどもにも文庫を巡回してほしい。

イ. 借りている本であるから大切に扱うことに注意をし、読書指導以外の教育面でも効果があがった。

ウ. 辺地のため学校図書も少なく、たいへんよい企画である。

エ. へき地こども文庫は、児童に大きな喜びを与えた。このような試みが刺激となって新たな読書意欲を盛りたてた意義は大きい。ぜひ巡回数を増してほしい等。

県立図書館では、これらの要望に答えるため、本年度はさらにセット数を増し、各希望校に年3回巡回できるようにただ今準備中です。



——開館から2月末まで——

- 43年10月15日 新館落成竣工式
- 16日 開館記念行事。三代教科書展。ステレオ鑑賞会。文化映画を見る会。
- 17日 鑑賞会。文化映画を見る会。
- 18日 閲覧・貸出業務開始。
ジョンソン駐日大使来館（図書145冊寄贈）
- 19日 日本海TV、新館紹介のため録画取材。
- 28日 自動車文庫美濃コース巡回。山形県知事視察のため来館
（10月中閲覧者総数 7,920名）
- 11月3日 NHK、新館紹介のため録画取材。
- 4日 自動車文庫邑智コース巡回。
- 5日 個人鑑賞ブース開始。
- 25日 鳥取県教育委員視察のため来館。
- 26日 自動文庫加賀・八雲コース巡回。
- 27日 県公共図書館協議会総会。
〃 自動車文庫伯太コース巡回。
- 28日 自動車文庫日御碕・佐田コース巡回。
- 29日 自動車文庫平田・雲南コース巡回。
（11月中閲覧者総数 12,330名）
- 12月3日 自動車文庫広瀬・頼原コース巡回。

レファレンス・コーナー

——最近の郷土資料室の

レファレンスの実例から——

（問）松江市の地名の由来についてお知らせ下さい
（答）このことについては、以前からいろいろな説があります。

（1）中国の浙江省の^{ズンゴウ}淞江府は西湖にのぞんで景色の美しいことと、スズキ・ジュンサイを産することが、松江の宍道湖とよく似ているので、堀尾氏がこの名を借りて名付けた。

（2）堀尾吉晴に仕えた小瀬甫庵が、松江の城を縄張してスズキの名所であることにより松江と名付けた。

（3）丹成寺の開山春龍和尚が、西湖のほとりの^{ズンゴウ}淞江府は、スズキとジュンサイを名産とし、その城がズンゴウに似ているので、松江と名付けた。

（4）その後になって、白潟神社の元徳2年（1330年）に書かれた^{ムナブタ}棟札に「雲州意宇郡松江村白潟明神」と記してあるというので、堀尾吉晴公松江開府以前にすでに松江という地名があった。

以上のような諸説がありますが、一般には春龍和尚説が信じられているようです。どの説が正しいか結論はまだ出ていません。＜資料＞（1）……懐橋談、雲陽誌。（2）……新井白石紳書。（3）……雲陽大数誌。（4）……松江八百八町内物語白潟の巻松江市誌。

- 7日 文化映画を見る会。
ステレオコンサート。
- 9日 自動車文庫美濃コース巡回。
- 10日 鳥取県立米子図書館、鳥取大学附属図書館職員来館。
- 15日 自動車文庫邑智コース巡回。
（積雪のため桜江町のみ巡回）
- 20日 〃
（温泉津町・仁摩町多伎村巡回）
（12月中閲覧者総数 12,820名）
- 44年1月8日 ジュニアステレオコンサート。
- 11日 文化映画を見る会。
ステレオコンサート。
- 14日 名曲ステレオコンサート。
- 17日 平田市東小学校家庭科教育学級集会室において一日学習。
- 18日 定例ステレオコンサート。
- 20日 優良読書会表彰伝達式。
温泉津町元井田読書会。
（1月中閲覧者総数 12,200名）
- 2月5日 水曜ステレオコンサート。
- 8日 文化映画を見る会。
ステレオコンサート。
- 18日 高視研映写機操作技術講習会。
- 25日 自動車文庫加賀・八雲コース巡回。
- 26日 〃 伯太コース巡回。
- 27日 〃 日御碕・佐田コース巡回。
- 〃 新宮忠雄氏より寄贈図書受ける。
- 28日 自動車文庫平田・雲南コース巡回。
（2月中閲覧者総数 12,840名）

図 書 館 ニ ュ ー ス

読書普及利用研究協議会開く！

去る4月22日当館集会室において、県下各市町村の社会教育主事、自動車文庫配本所主任らを招き、読書普及を推進するための研究協議会を開きました。

研究協議会は午前中全体会議を聞き、はじめに岡田振興課長から読書普及の現状と問題点についてお話があり、続いてモデル文庫の運営状況について柿木村教委の小林主事から、また自動車文庫の運営について佐田村教委の佐々木主事から、研究発表がありました。

午後に入って、日本図書館協会の菅原総務部長から、県立図書館のあり方と題して講演があり一同傾聴しました。引続き分科会にわかれ、市町村教委部会は、「市町村における読書施設設備の充実を図るには如何にすべきか」について、また配本所主任部会は「読書会活動を活発化するには如何にすべきか」について、それぞれ熱心な討議がおこなわれ、17時全日程を終了しました。

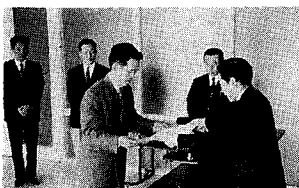
文化講演会盛会裡に終わる！

県立図書館と友の会の共催で、去る4月24日集会室において、文化講演会を開催しました。

講師は、駐日米国大使館文化顧問で、茨城キリスト教大学教授の斎藤襄治先生。「アメリカにおける日本のイメージ」と題し1時間余にわたって、終始ユーモラスな口調でお話しになりました。続いて斎藤先生の友人で、日本文化研究家ポールブルムさんの「私が日本に住んでいる理由」という講演があり、参会者一同最後まで熱心に聴取し、盛会裡に散会しました。



たくさんの図書を寄贈いただきました！



このたび松江市法吉町の曾田稔さんと同市田町の曾田甬さんご兄弟から、県立図書館の改築と、甬さんの県庁停年退職の記念にと、千余冊の本を寄贈していただきました。これらの本は、学問ずきであつたお二人の父上の虎一郎さんが、生涯にわたって集められたもので、中には江戸時代の農学書をはじめ貴重なものがたくさんあります。

また、出雲市西林木町の新宮忠雄さんから、明治初期から昭和にわたる教科書を主とする三百数十冊の本を寄贈していただきました。

当館では、このご厚志に対し感謝状をお贈りするとともに、4月5日から13日までこれら寄贈図書の一部を展示しましたが、近く登録整理して永く保存すると共に広く県民のみなさま方の利用に供します。

寄 贈 図 書

(昭44.3.1~44.3.31)

図 書 名	住 所	寄 贈 者
句集奥石見	那賀郡	荒 木 嵐 子
イルティッシュ号と和木	江津市	江津市立和木公民館
天意選名法	山梨県	富 田 洋 平
50年のあゆみ	東出雲町	佐藤造機株式会社
原爆被災資料目録	広島市	原爆資料保存会
島根の近代史	松江市	島根県教育科学研究会
双 思 榆	札幌市	木声会 天野宗軒
馬木子ども風土記	横田町	横田町立馬木中学校
森鴎外研究	益田市	県立益田工業高等学校 文芸部

ヤマタのオロチ退治考
昭和の教壇30年史
学問のすすめ
ひとりの心
炬 火 (第18号)
尼 崎 市 史
残酷の日本史
愛憐飛行
創立60周年記念誌
アジア諸国の中小工業の
現状と問題点
科学技術文献サービス
出雲高校平田植物園
日本における大学紛争の
現状とその問題点
将来計画委員会中間報告
孝明天皇紀 第5
馬の品種図鑑
吉賀記念誌
石川正西聞見集
県立出雲商業高校50年誌
紀 4
日本自転車検査協会20年
史
労務年鑑 68年版
第8回出雲市小・中学生
の児童詩入選作品集
岩手県立図書館のあゆみ
中国地域水田土壌図
昭和42年水害統計
安 田 誌
梅
千家尊福公
神奈川県史料(第5巻)
放送学研究

高知市 内 田 守 彦
出雲市 富 田 謙 三
松江市 図書月販島根管理室
東京都 篠 原 登
出雲市 県立出雲高等学校
尼崎市 尼崎市史編集事務局
松江市 岡 陽 敏
" 宇 野 邦 一
鹿足郡 県立津和野高等学校
東京都 海外技術協力事業団
" 国立国会図書館
出雲市 県立出雲高等学校
東京都 内閣官房内閣調査室
" 日本図書館協会
京都市 平 安 神 宮
東京都 日本中央競馬会
六日市 県立吉賀高等学校
浦和市 埼玉県立図書館
出雲市 県立出雲商業高等学校
安来市 県立安来高等学校
東京都 日本自転車検査協会
" 日本労務研究会
出雲市 出 雲 図 書 館
岩手県 岩手県立図書館
広島県 中国農業試験場
東京都 建設省河川局河川計画課
伯太町 伯太町教育委員会
松江市 城発行所 前田圭史
大社町 出雲大社々務所
横濱市 伊藤征男
東京都 神奈川県立図書館
日本放送協会

—おねがい— 県立図書館郷土資料室で探し求めている本 —ゆずってください—

当館では、郷土資料室の新設にともない、郷土資料の収集整備計画をたて、資料の充実の力をそいでいますが、その一端として今回から探求図書リストを館報に掲載して、広く各方面のご協力を得たいと存じますので、該当の図書（資料）をおもちの方、またはその所在を知っておられる方は、当館奉仕課郷土資料室（電話 松江02—2101番）までご一報いただければ幸いです。

寄贈していただくか、または適当な価格で譲り受けたいと存じます。

「探 求 図 書 リ ス ト」

書 名	編 著 者	発 行 所
出雲大社蔵書目録	出雲大社社務所	同
大社教典	千家尊有	大社教本院
出雲大社の本殿	出雲大社	出雲大社社務所
石見社寺案内	錦織智禪	弘 教 会
那賀郡曾洞宗寺門史	那賀郡温智会	
道川村史	矢富熊一郎	道川村公民館
横道の歴史	青木 勲	日原公民館
美鹿地方歴史年表	青木 勲	小川公民館
二宮村史	二 宮 村	同
八川村史	八川村史編さん委員会	同
乙 立 史	花田亀麿	同
周布村郷土史	周布村小学校	同
三隅町史	木村晩翠	三隅町役場
石見軍記	城市常太郎	
石見古事談		浜田市文化財保存会
雲城村67年史	佐崎孝道	
久多美村誌	原 運一	久多美村役場
安田村誌	安 田 村	同
掛合村誌	掛合村役場	同
鍋山村誌	鍋山村青年会	同
窪田村誌	妹尾国次郎	窪田村役場
井田村誌	井田小学校	同
三保村誌	木村晩翠	同村役場
東仙道誌	東仙道村	同村役場
長谷村誌全	森脇太一	長谷村小学校
長谷村誌資料	森脇太一	長谷村小学校
二条村誌	青木綱治	二 条 村
川波村概観	野海多郎右衛門	同
出東村誌	足立源次郎	出東村小学校
忌部村誌	小豆沢逸郎	忌部村教育義会
隠岐古記集	大西教保	同
温泉津案内	温泉津町自治協会	温泉津町
石見高島	矢富熊一郎	益田市史談会
昭和島根全誌	山陰文化研究会	愛隣社出版部
日本の御寿	藤本充安	同
石見人物抄上	山崎克彦	島根社会文化研究所
“ 中	“	“
石見家系録	大島幾太郎	
斐川人物点描	長瀬定市	斐川村教育委員会
系図吉見家系図		
簸川郡偉人篤行者伝	簸川郡私立教育会	同
鏡山おはつ	中谷昌左	同
高岡真吉小伝	高岡弘道	同
西 周 伝	森 林太郎	
石見人物事典	山崎克彦	島根社会文化研究所
八束郡熊野村治績	八束郡熊野村	
飯石郡政誌	飯石郡自治協会	
津和野藩文武教育史	新井幸助	
簸川植物誌	原 貞吉	同
古来の砂鉄精錬法	俵 国一	丸 善

和銅和鉄	前田六郎	河 出 書 房
農 魂 録	長瀬定市	斐 水 社
山陰鉄道案内	小松原真琴	山陰史蹟協会
不昧公遺墨集	島根県美術協会	同
紫畠小伝	加部徹夫	村本研精堂
画聖雪舟	沼田頼輔	聚 精 堂
画聖雪舟と大喜庵	柳井雪男 益田雪舟450回忌奉讃会	
山陰の餅名品集	富山 薫	白 鷗 社
山陰名勝唱歌	奥原碧雲	川 岡 清 助
出雲のお国	吉川 清	中外出版社
石見方言集	大島幾太郎	同 人 社
柿本人麿と石見国	山田本母	
柿本朝臣人麿記事	益井忠恕	綾部政之助
鷗外書誌	滝田貞治	台湾愛書会
森鷗外の系族	小金井喜美子	大岡山書店
田畑修一郎	小野伸代	益田市教育委員会
追憶の島村抱月	山崎克彦	島根社会文化研究所
石見盆踊口説唄	野田忠三郎	石見詩人社
郷 愁	田畑修一郎	翼賛出版協会
翼 の 門	山田 浩	弘 学 社

<逐次刊行物>

郷土1～7、11号	島根郷土研究会	同
石東史叢2、5号	石東地方史研究会	同
隠岐郷土研究1～4号	隠岐郷土研究会	同
伝承5号	山陰民俗学会	同
山陰民俗1、4～6、9	山陰民俗学会	同
～11、13～14、16、18	山陰民俗学会	同
山陰文学6号	山陰文学会	同

「郷土人文庫の開設」について、

新図書館の開館にともない、郷土資料室を新設し、以来これにふさわしい資料の収集整備をはかるべく努力を重ねてまいりましたが、本年度からその収集計画の一つとして、郷土人文庫を開設することになり、その準備をすすめています。

従来、郷土人の著書については、一般にあまり知られていませんが、それはその実体がなかなかつかめなかったこともあり、また人員・予算の都合で、積極的な施策がなされていなかったことも原因の一つとして考えられます。

この郷土人文庫は、かかる意味から島根県で生まれ育った郷土人の著書をできるだけ幅広く収集整備して、これを郷土資料室に別置し、一般の閲覧に供することによって、これら著者の労作を広く県民に認識していただきあわせてこれらの資料を永く保存していくことを目的としたものであります。

近く関係先に寄贈方依頼状を出す予定ですが、県民のみなさんも郷土人文庫開設の意図をおくみとりいただき、積極的なご協力を賜りますようお願いいたします。（郷土資料室）

(総記)

世界の名著
10冊の名著
現代日本人の思想
出版問の周
学問の周

(哲学)

人生の名言
イノ神話の心
人生に勝つる
愛に生ける
実存倫理の
自己啓発の
あとに生きる

(歴史)

ビルマにおける日本軍政史の研究
チェコ武器なき戦い
帝釈時代史
地理発見のあけぼの
歴史のこイ
入門世界の
東洋史と西洋史のあいだ

(社会科学)

法律的なもの
美濃部達吉の思想史的研究
パーキンソンの法則1、2、3
青年であること
私のえらんだ海外留学
古都祭暦
沖縄三大選挙

著者
中井大筑栗末
央上和摩田川
公論書書書

著者
浦柳野モ川本多
三白小A西松佐

著者
田崎中イ木塚
常レ寿謙ル啓浩
蔵フ和二一

著者
市家永田城条瀬
C.N.パーキンソン男賢司二
島宮北牧



(芸術)

民芸の美
日本歌謡百賞
登山入門シリーズ(全六巻)
組香の鑑全集(1巻~25巻)
世界名画全集
改訂楽器図鑑

(語学)

ことばの本性
言語学の基本問題
論理と探究
言語生活の探
言生言語研究
幼児言語研究
今昔物語集の語法研究

速記技能検定問題集
スピード会議術

(文学)

儒汚天日捨二彼現万枇
人れ保本子人
劍客物の女世の
岸悪の
代葉杞

(児童)

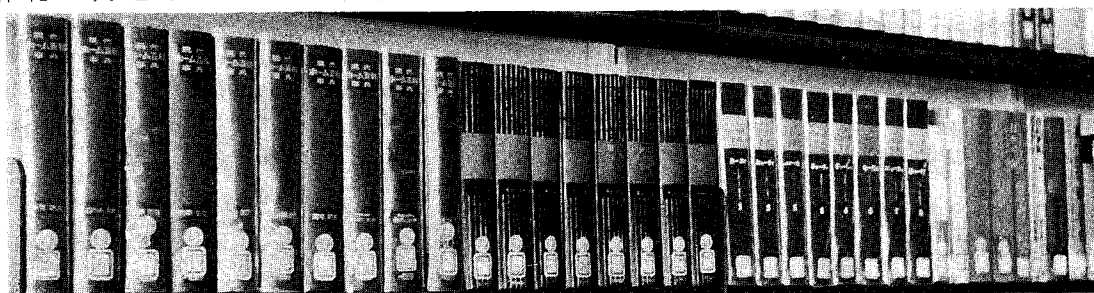
城と古戦城上下

志夫郎正等社朗
比至六西格
尾灯島条川凡明
水丘小三高平菅

築ギユミタ
カニ尾田伯井
西村佐枝
早稲田速記教育研究委員会
天羽大平

早乙女重清
黒松山岡橋和
武小者路実
小梶林山季
森山本治直
志賀直

高柳光寿



(自然科学)

数学の精神、思想、方法
花と花粉
科学と科学者
物性物理学の世界
宇宙にいどむ
家族計画の指導方針
世界のサル

(工学)

品質管理の話
化学工業入門
発明と都市とは何か
人間にとって都市とは何か
電子計算機と人間
ロボット百年

(産業)

合併農協発展の記録
薬草全地科
芝草と養豚法
デンマーク商店学
成長薬学
農美しき花ことば

米山国蔵
岩波洋造
朝永振一郎
伊達宗行
W.フォングライウン
日本母性保護医協会
河合雅雄

米山高範
崎川寅輔
磯村英一
D.G.フィンク
糸川英夫
毎日新聞社

堀越久甫
伊沢凡薫
丹羽太左衛門
阿部美紀夫
山中本村成夫

上杉謙信
テレビ、ラジオのABC
犬の飼いがガイドブック
永遠の人生
私の家庭観
原色昆虫検索図鑑
物語世界めぐり

(郷土資料)

自由民権運動の研究
豊原五郎獄中からの手紙
日本の面影
吉岡勘之助先生玉
島根の近代史
教育を子供と父母のものに

(参考図書) (基本図書)

六法全書(昭和44年)
農業土木ハンドブック
海運貿易小辞典
文様の事典
蔬菜園芸ハンドブック
学校六法全書
P T A全書

井中愛羽
上山大仁
鋭のとも子
邦雄治

内藤正中
豊原五郎をたてる会
L.ハニー
森沢益太郎
水野祐
島根教育科学研究所
野島純治

我妻榮
城戸土木学会
岡登貞治
秋谷良三
日本教育文化社